



# すくすく通信



2026  
子育て世代包括  
支援センター  
子育て支援室

慌ただしく過ぎていく毎日ですが、一日のほんの数分、お子さんと一緒に絵本を開いてみると膝の上でぬくもりを感じながら過ごすステキな時間がとれて、お子さんにとってはもちろん、おうちの方にとってもホッと心が安らぐひとときになるはずですよ。

今月は「年齢別おすすめ絵本」を紹介していきたいと思います。

0, 1歳



「がたんごとんがたんごとんざぶんざぶん」  
「ぶーぶーぶー」  
言葉のリズム、繰り返しが楽しめる絵本

1, 2歳



「きんぎょがにげた」「おつきさまこんばんは」  
いるいる！とさがたり、おもわず一緒ににっこりしたり。  
子どもと一緒に読むとほっこりする一冊です。

3, 4, 5歳



「ねずみくんのチョコッキ」「キャベツくん」  
「ねむいねむいねずみ」  
繰り返しの展開で少し内容が変わるおはなしも  
楽しいです。先の展開も楽しみにになります。

みんな  
大好き！



「おべんとうばこのうた」「もちゃのチャチャチ」  
「どんないろがすき」  
よく耳にする歌が絵本になっている本もあります。  
一緒に見ながら歌うのも、楽しいですよ。

Q、どんな絵本を  
選ぶといい？

A、好きな絵本で大丈夫！

大切なのは、一緒に読んでくれる人の優しい声や雰囲気。膝の上でスキンシップを図りながら読んでもらえると安心感にも繋がります。

特に乳幼児期は絵の構成や色合いに加え、音や言葉も楽しめます。「わんわん」「パタパタ」「ゴロゴロ」など、オノマトペ（擬音、擬態語）も喜んで聞いてくれます。それらを繰り返し聞いて、知っていくことで安心し、絵本の世界を楽しめます。

Q、何度も同じ本を読んで  
と言われたら？

A、何度も読んでもらうことで、新たな発見や、理解が深まっていきます。絵本の様々な面白さに気付くことができます。

自分の好きな絵本を大人と一緒に楽しみたい気持ちを受け止めたいですね。

しかし、大人としては、もっと違う本にも触れさせたいと考えることもあります。お子さんの読みたい本を先に読んでから「この絵本もおもしろいよ。読んでみようか」と誘いかけてもいいですね。

